

□日時：平成28年9月11日（日）午後13時半～15時半
□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第13回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会の概要報告 9/20版

- 1 開会挨拶 ……くまもと戦跡ネット 戸崎理事
熊本地震の復興に向けて力を合わせていきましょう。戦後71年となり、昨年同様とはいきませんが、地道に取り組んで行きたいと思います。



開会での戸崎理事の挨拶

- 2 団体及び個人参加
○人権NPOちなもい ……有馬事務局長
○近代化遺産 荒尾二造変電所等をいかす市民の会 ……山野事務局長
○上村真理子さん（宇城市）、牧口敏孝さん（合志市）、三隅康資さん（熊本市）
○江藤圭子・福田扶美子（花畑別館の会）
○事務局：くまもと戦跡ネット ……戸崎理事、松本晴樹理事、末永理事、高谷

- 3 各団体からの次年度6月以降の取り組み等の報告

※各団体持参の別紙参照資料

- 牧口敏孝さん（合志市）熊本放送に勤務していた折に、戦跡保存等の活動を番組で紹介する機会が何度かあった。現在は水俣病をフィールドとしている。
○三隅康資さん（熊本市）熊日読者ひろばへの「平和資料館」等の投稿を多数行っている。
○上村真理子さん（宇城市）5000点を超える戦時資料を収集している。
○人権NPOちなもい：有馬さん 会としては、人権・差別等の問題で幅広く取り組んでおり、現在は個人の立場で参加している。
○荒尾二造市民の会：山野さん 昨年度は証言集、平和の祈念碑建立を行った。現在は荒尾に戦争・荒尾二造等を含めた郷土資料館をつくる活動へと広がっている。
○花畑別館を活かす市民の会

今回共同代表の3名の内2名が参加した。福田代表からは、上京の折に渋谷郷土博物館・文学館を訪れた様子の紹介された。戦中・戦争の渋谷の様子知る施設で、都民が日常的に利用する姿が花畑別館の未来の姿と重なった。花畑別館は空襲・水害・震災を乗り越えた施設。これまでに見学会を3回、市議会には4回陳情、シンポジウムは1回開催しており、第2回目シンポを10/23に開催予定である。



活動を紹介する江藤圭子さん

江藤代表からは、花畑別館は市民のための施設であり、地の利の良い場所にある。市議会公共施設特別委員会での視察様子（解体が決定しているからか、マイクロバスの乗ったままで内部さえも見ていない）に落胆している。市議会での審議では、9月議会で取り壊しのための予算を組み、29年度中に解体を行う予定。なお、シンポジウム後に署名を市長あて届ける予定である。

- くまもと戦跡ネット

玉名市博物館での「熊本の奉安殿」展示会開催を開催し、好評の内終了できた。合わせて啓発リーフレット『黒石原飛行場と奉安殿』を発刊し、5000部印刷・無償で地元配布した。8/11講演会「皇民化教育のシンボル奉安殿と戦後の民主化教育」では、玉名歴史研究会森会長に講演いただき、戦中・戦前の様子を知る良い機会となった。熊本地震被災レスキュー活動では、遺跡として隈庄飛行場油倉庫・弾薬庫の測量調査等を行い、遺物としては熊本市・宇城市、美里町ほか各地資料の収集を行っている。また、熊本地震で被災した「陸軍隈庄飛行場の油倉庫・弾薬庫」決議文では、10月初旬に大西市長への手渡しを行う予定である。

- 4 協議、意見交換等

- (1) 平成28年熊本地震に関わる戦争遺跡被害、終戦の日 ※記事参照

- 産経新聞他8/15「戦争遺跡31件損壊」「陸軍隈庄飛行場油倉庫を救え」
○熊日新聞8/15社説「終戦の日 震災に重ねる平和の尊さ」

- (2) 熊本に、平和と戦争の資料館「ピースくまもと（仮）」を

ア 前回までの経緯等の報告（第12回事務局会の概要報告）を参照ください。

イ 熊日投稿の三隅さん「平和資料館を熊本に造って」、高谷「戦争遺跡残り平和を求めよう」の紹介を行う。

ウ 平和資料館等の視察報告：三隅さん

NPO運営・博物館相当施設「ピースあいち」は、多少不便な場所であるが篤志家により1億寄付で設立された資料館である。ボランティアによる運営が主体となっている。また、平成27年7月開館した公設資料館「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」が別施設として開館している。歴史的建造物である愛知県庁大橋分室を利用し、イベントホールとして活用されている。政府・国系資料館である「平和祈念展示資料館」(新宿)・「しょうけい館」(九段南)・「昭和館」(九段南)は、被害の歴史、戦後復興をテーマとして展示である。また、ピース大阪での加害展示は、時勢の動きで撤去されるなど残念な課題もある。



三隅康資さん資料館見学の報告

(3) 意見交換 「ピースくまもと(仮)」構想ワークシートを基にしての作業

Q・旧逓信省貯金局(花畑別館)ではどのような仕事をしていたのか。

A:貯金業務に関わる定額預金等の業務を行い、複写資料を保管していた。貯金局業務の性格上、火事や地震に耐えうるような防火シャッターを備えた建物である。実務を優先とし、採光を十分にとった設計思想の基での先駆けの建物である。外観は有田焼のタイル外観である。

Q:上村さんの戦時資料の概要をお教えてください。

A:約5000点の資料数である。①展示品と解説併用の物:約500点、②戦時資料の品名のみ(まだ解説無し)、③戦時書籍、④新聞報道資料(1500点)で構成されている。収集の視点は「愛国少年少女はどのようにしてつくられたのか。遊び・子ども等の視点から」「メディアの戦時下の役割、国民を高揚させる視点から」「政府・軍部の世論の形成、防諜、国債等の視点から」である。現在は松橋の借家に、震災後は崩れたままだが、そのまま納めている。



上村真理子さんの資料紹介

○次回には、上村さん資料では「A4で1枚程度の項目毎の構成表」を、また、各団体では昨年夏に作成の「展示会資料リスト等」を改めて提出をお願いします。県内資料の全体ボリュームを積み上げる作業にご協力ください。

Q:阪神淡路の震災で多くの資料は売りに出されようだが。

A:今回資料の一部は、その際に買い求めた物であり、今回の熊本地震での県遺族会関係者からの寄贈もあった。熊本地震での散逸防止が急務である。

○拠点施設としては案1:花畑別館、案2:熊本学園大第2体育館として了解である。

Q:熊本空襲の扱いをどの様にするのか。

A:各地の資料館でも必ず展示コーナーに空襲が扱われている。熊本が焼け野原となった終戦前後の記憶は県民にとって大きい。必要な項目・内容である。

Q:「加害」を扱う必要があるではないか。

A:加害を敢えて語らず、とりわけて展示するのではなく、事実にとり今ある物をきちんと見せて展示するなかで理解させる方法もある。各自で考えていくような展示が必要ではないか。

Q:ノモンハンの証言取材等でも体験したが、加害者としての視点は大事なのだが、どうしてこんなに難しいのだろうか。

A:親から聞く真実とマスコミ・ペーパーからの事実との相違がある。大浜飛行場での接收の様子から事実を確認する必要があると感じた。有明中学校への出前平和講座は、「戦争の事実を正確に伝えること」との視点で8年前にスタートした。何が良い・悪いを示すのではなく、事実をそのまま積み重ねる、見せる事が大切ではなかろうか。

○板書を参照として、今後検討の作業としてください。

5 次回、第14回は「第3回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」(11月26日午後1時半～・玉名市文化センター視聴覚室)を充てたい。

○九州内の主立った団体がこれまでに参加されていますので、ぜひご参加ください。

○これまでに限られた時間内で慌ただしく会議を進めてきました。次々回の1月当初にゆっくと熊本市内で夕方から「情報交換会(食事会)」を開催させてください。その際はワークシートを基に、十分な話し合いをお願いします。



閉会での有馬事務局長の挨拶

6 閉会 人権NPOちなもい ……有馬事務局長

今日の議論を聞きながら自分の中に落ちるところ、理解できるところが多数あった。残暑が厳しいので健康に気をつけて頑張ってください。

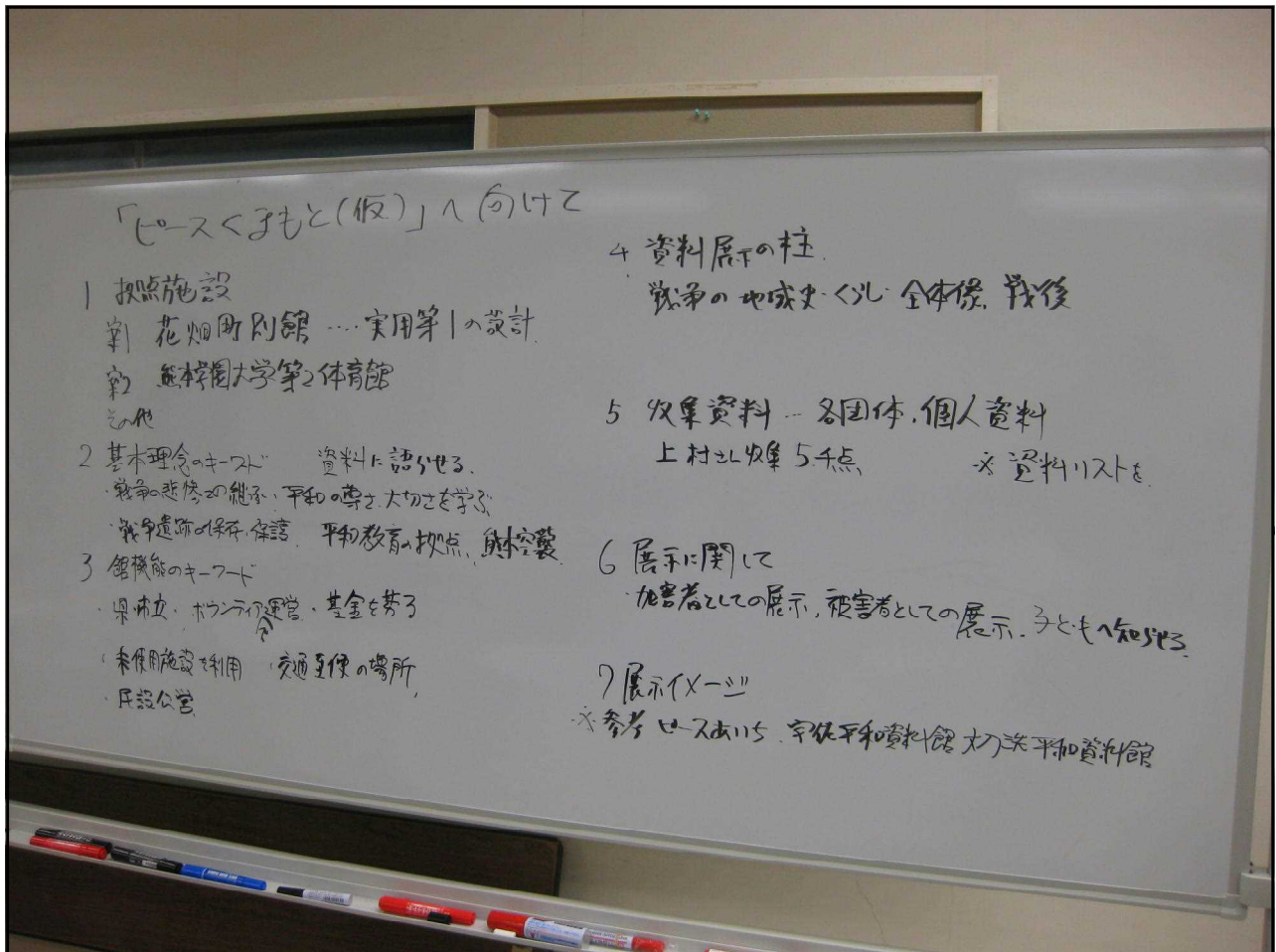
7 見学「旧陸軍歩兵十三聯隊食堂（熊本学園大学第2体育館）」
3:30~4:30

見学者は有馬・三隅・上村・山野・戸崎・末永さんで、高谷が案内する。

「旧陸軍歩兵十三聯隊食堂（熊本学園大学第2体育館）」を外観から見学した。その際、出入り口が常時開放されていたので、南側被災状況と内部構造を見ることができた。また、徒歩で移動して煉瓦造正門を見学した。



十三聯隊食堂の見学様子



問い合わせ先・連絡先

戦争遺産フォーラムくまもと

(くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局) 高谷 和生

自宅 / 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

TEL&FAX 0968 74-5030

個人携帯 090-1513-5528

Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

ワークシートを基にした協議内容事項 原案は三隅さん、番所は末永さん